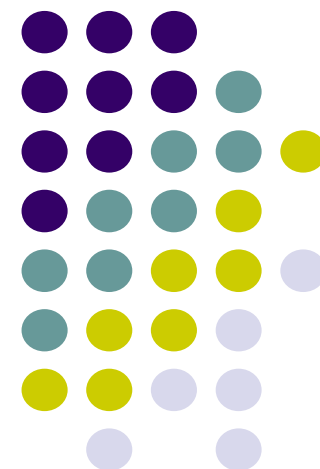
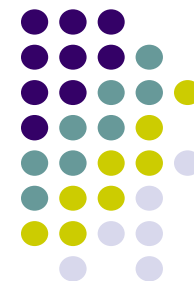


決算説明資料

(2014年3月期決算)

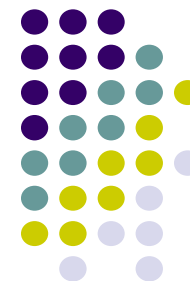
2014年5月8日
東証2部
オーナンバ株式会社





目次

1. 決算の概要(BS、PL、C/F)
2. セグメント別業績
3. 2014年3月期のトピックス
4. 2014年12月期の経営戦略
5. 2014年12月期の業績予想

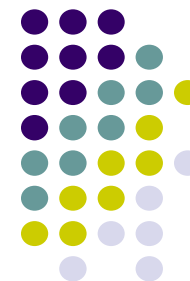


1. 決算の概要

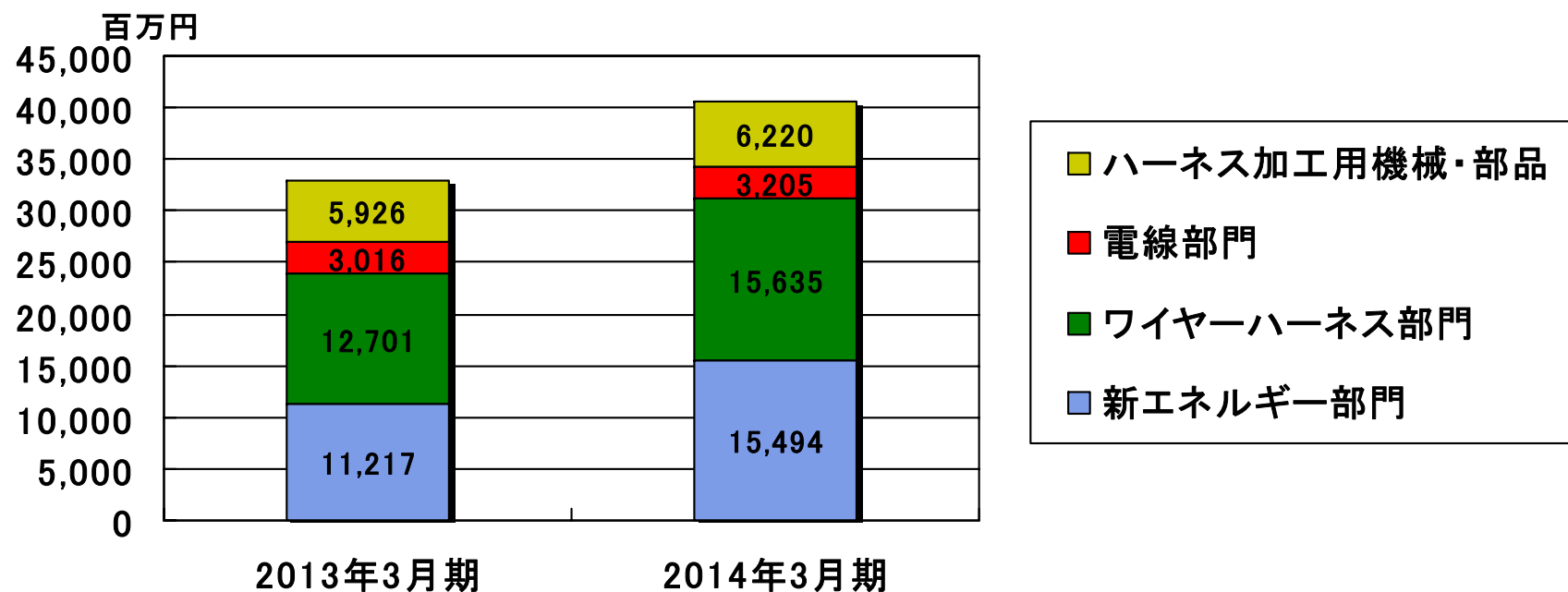
－ P L － 『売上高は過去最高となり、営業利益～当期純利益も増益となる』
(単位：百万円)

科 目	2013年3月期		2014年3月期		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
売 上 高	32,860	100.0%	40,556	100.0%	7,696	23.4%
売 上 原 価	26,732	81.4%	32,666	80.5%	5,933	22.2%
販 売 費 ・ 一 般 管 理 費	5,362	16.3%	5,944	14.7%	582	10.9%
営 業 利 益	764	2.3%	1,944	4.8%	1,179	154.2%
営 業 外 収 支	△125	△0.4%	72	0.2%	198	—
経 常 利 益	639	1.9%	2,017	5.0%	1,378	215.6%
特 別 損 益	△364	△1.1%	△20	△0.1%	344	—
当 期 純 利 益	△90	△0.3%	1,379	3.4%	1,469	—

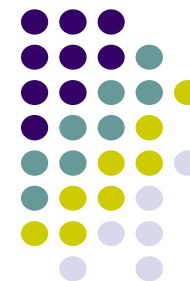
- ・ 売上高：主に新エネルギー関連製品が増加した。製品別内訳は次頁に記載。
- ・ 販売費・一般管理費：荷造運送費・貸倒引当金・製品改修引当金が増加した。
- ・ 営業外収支：前期はデリバティブ解約損164百万円が発生。
- ・ 特別損益：前期は関係会社清算損346百万円が発生。



【部門別売上高】



- ・ 新エネルギー部門：太陽光発電配線ユニット・延長ケーブル、PVU-Finderの売上が増加。
- ・ ワイヤーハーネス部門：主に車載用・事務機器用・産業機械用ハーネスの売上が増加。
- ・ 電線部門：復興需要の進展により売上が増加。
- ・ ハーネス加工用機械・部品：加工用機械の売上が増加。

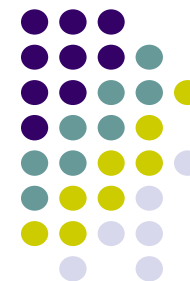


【主要製品別売上高】

(単位：百万円)

	2013年3月期	2014年3月期	増減
太陽光発電配線ユニット・ケーブル	10,825	14,470	3,645
薄型テレビ用ハーネス	1,238	1,136	△102
白物家電用ハーネス	1,356	1,588	232
事務機器用ハーネス	1,564	1,819	255
車載用ハーネス	951	1,865	914
アミューズメント用ハーネス	583	527	△56
産業機械用ハーネス	374	578	204

- ・ 太陽光発電配線ユニット・ケーブルは、日本および中国での販売が増加した。
- ・ 車載用ハーネスは、主に北米での販売が増加した。
- ・ 産業機械用ハーネスは、中国での販売が増加した。



【設備投資の状況】

(単位：百万円)

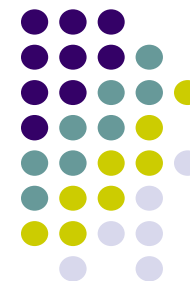
	2013年3月期	2014年3月期	増減
有形固定資産取得額	637	765	128
減価償却費	610	746	136

主な投資内容

ユニオンマシナリ（タイ）	250百万円	⇒	新工場の土地・建物（工場移転）
インターコネクトテクノロジー	71百万円	⇒	電線製造設備
ベトナムオーナンバ	78百万円	⇒	太陽光発電配線ユニット製造設備

【人員増減】

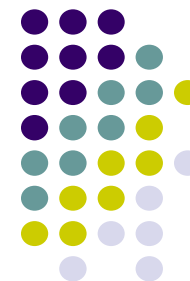
	2013年3月末 (A)	2013年9月末	2014年3月末 (B)	増減(B-A)
従業員	4,441人	5,105人	4,972人	531人
臨時従業員	316人	308人	324人	8人
合計	4,757人	5,413人	5,296人	539人



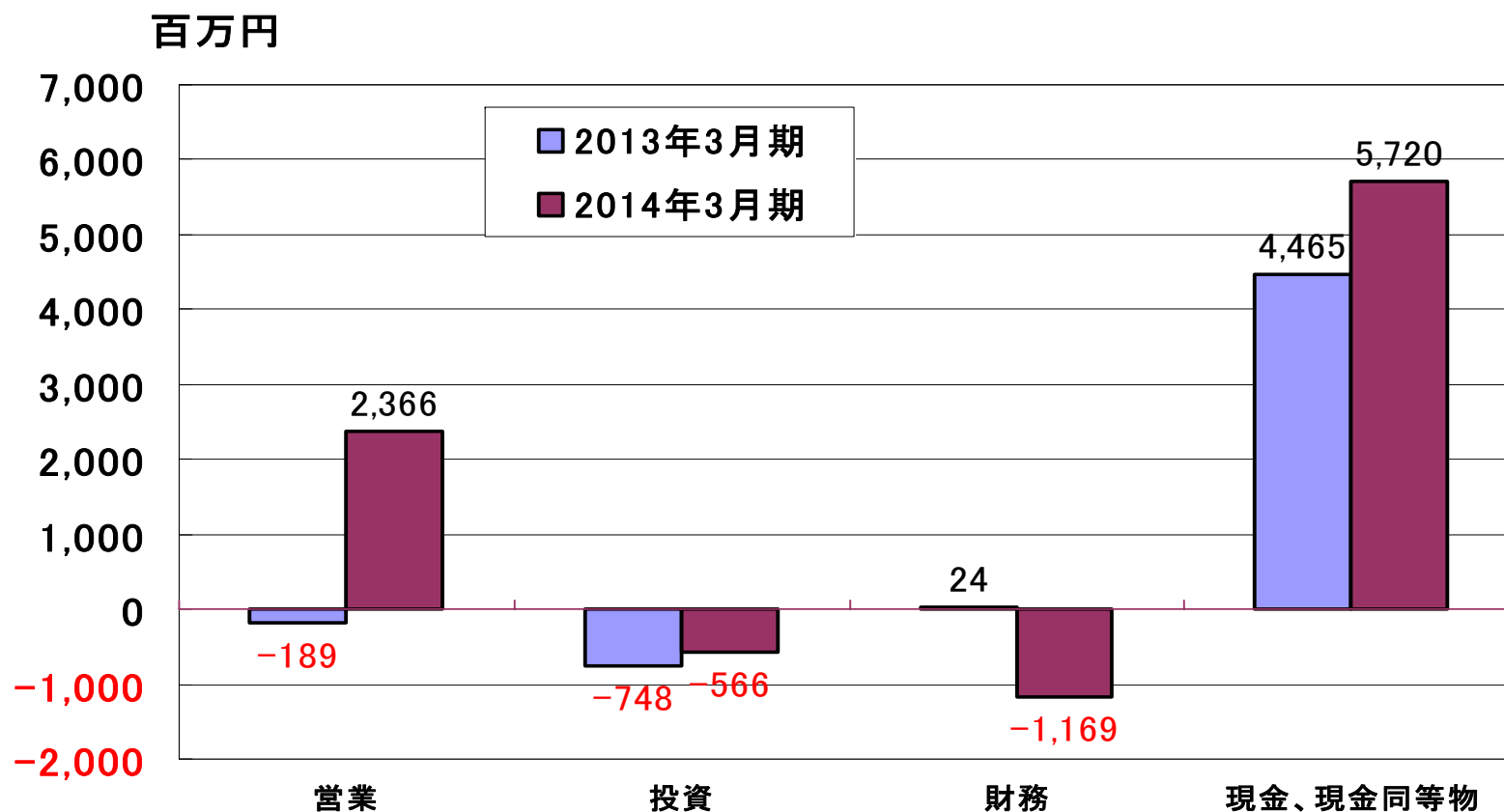
－ B S － 『受注・売上の増加により資産・負債とも増加』 (単位：百万円)

科 目	2013年3月末		2014年3月末	
	金額	構成比	金額	構成比
流動資産	21,545	71.1%	25,047	73.4%
(現金及び預金)	4,685	15.5%	5,740	16.8%
(売掛債権)	10,558	35.0%	12,088	35.4%
(棚卸資産)	5,616	18.6%	6,344	18.6%
固定資産	8,746	28.9%	9,087	26.6%
(有形固定資産)	5,683	18.8%	5,988	17.5%
資産合計	30,291	100.0%	34,134	100.0%
流動負債	12,552	41.6%	13,722	40.2%
(買掛債務)	6,516	21.6%	7,393	21.7%
(短期借入金)	4,507	14.9%	3,996	11.7%
固定負債	5,705	18.8%	5,517	16.2%
(長期借入金)	4,727	15.7%	4,587	13.4%
負債合計	18,257	60.3%	19,239	56.4%
純資産計	12,033	39.7%	14,895	43.6%
負債・純資産合計	30,291	100.0%	34,134	100.0%

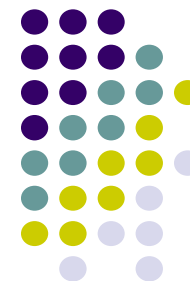
- ・ 売上（受注）の増加により、売掛債権、棚卸資産、固定資産、買掛債務が増加。
- ・ 当期純利益の増加による借入金の返済で、短・長期借入金が減少。
- ・ 純資産は利益剰余金の増加と円安による為替換算調整勘定の影響で増加。



-C/F- 【キャッシュフローの状況】



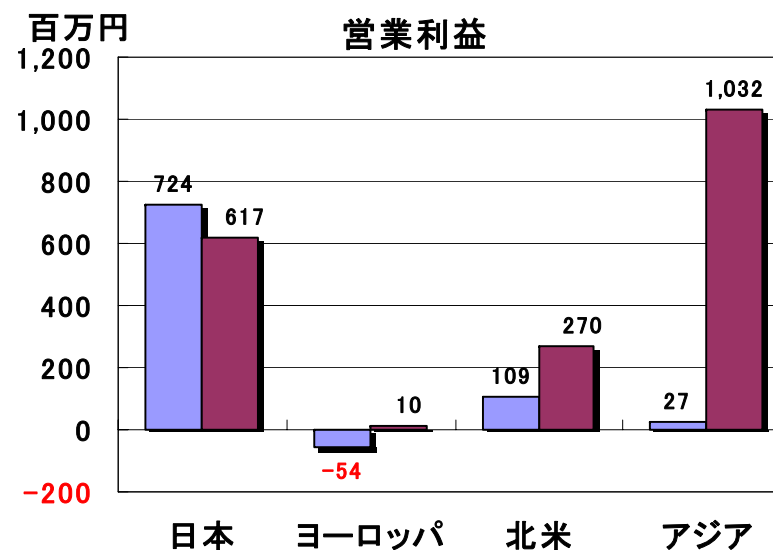
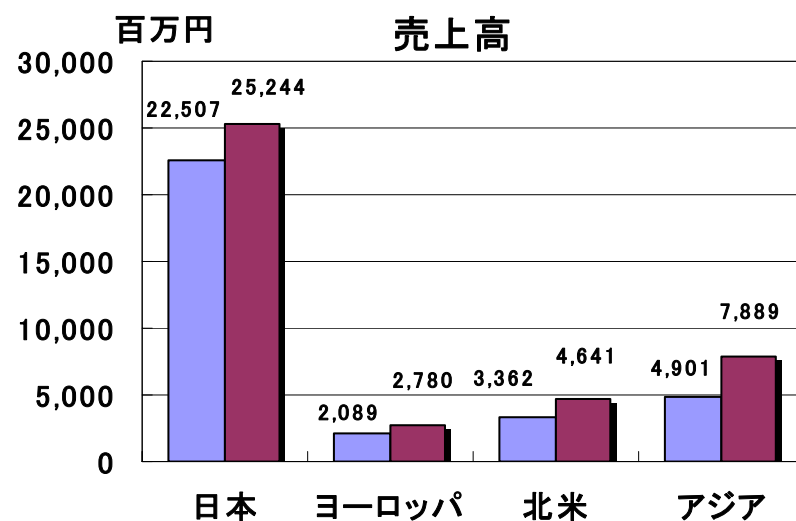
営業C/Fは税金等調整前当期純利益の増加でキャッシュイン。投資C/Fは固定資産の取得によりキャッシュアウト。財務C/Fは借入金の返済によりキャッシュアウトとなる。



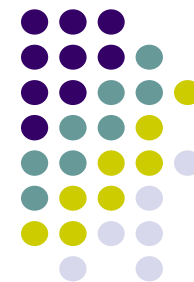
2. セグメント別業績

【セグメント別売上高・営業利益】

全地域で売上高が前年度に比べ増加し、生産量の増加に伴い、アジアで営業利益が大幅に増加した。



■ 2013年3月期 ■ 2014年3月期



3. 2014年3月期のトピックス

① 新エネルギー関連製品の売上が大幅に増加

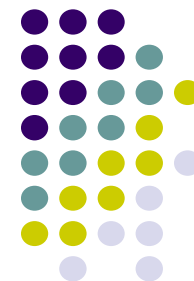
再生可能エネルギー国内需要の増加に対応し生産能力の増強を図った結果、主力のPVU、延長ケーブルをはじめ、新製品のPVU-Finder、接続箱などの製品売上が増加した。

② 中国で産業機械向けワイヤーハーネスの量産を開始

日系ロボットメーカーの中国現地生産会社向けワイヤーハーネスの本格生産販売を開始した。また、産業機械エンジンの需要増加に対応するため中国子会社でワイヤーハーネスの本格生産体制を構築し販売を開始した。

③ タイで車載部品新工場稼動開始

移転の部品新工場が完成し稼動開始。需要の増加しているタイ市場を中心に生産販売の拡大を図る。



4. 2014年12月期の経営戦略

① 製品開発・新規開拓の促進

新エネルギー、車載、ロボット、医療機等の分野での製品開発。
新規開拓の専任組織化。

② 適地生産の見直しと生産体制の整備増強

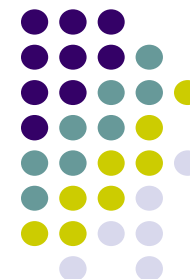
労働環境の変化に対応したグローバルでの適地生産を見直し、
競争力の維持強化を図る。

③ 新製品生産体制の整備増強

ロボット用、車載向け等の新規品生産体制の構築。

④ コストダウンの徹底

生産性の向上、滞留品・輸送費等の削減。



5. 2014年12月期の業績予想

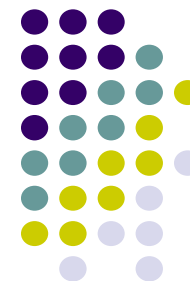
今期の業績予想は、海外の旺盛な自動車部品関連製品の需要への対応と照明・白物家電・産業機械用ワイヤーハーネスの拡販を織り込んで策定しました。
(なお、今期は決算期変更により従来の3月決算会社は9ヶ月決算となります)

(単位：百万円)

	2014年3月期	2014年12月期	増減
売上高	40,556	34,500	△6,056
営業利益	1,944	1,350	△594
経常利益	2,017	1,300	△717
当期純利益	1,379	800	△579

【部門別売上高】

	2014年3月期	2014年12月期	増減
新エネルギー部門	15,494	10,050	△5,444
ワイヤーハーネス部門	15,635	17,500	1,865
電線部門	3,205	2,650	△555
ハーネス加工用機械・部品部門	6,220	4,300	△1,920



本資料の将来予想に関する記述は、経済情勢や社会情勢の変化により、実際の業績と異なる場合があることをご承知おき下さい。